

建設業向けクラウド サービスが20周年

MCデータプラス、DX
プラットフォーム目指す

MCデータプラス(東京都渋谷区、飯田正生社長)の建設業向けクラウドサービス「建設サイト・シリーズ」が提供開始から20周年を迎えた。建設現場での入退場管理の標準化や、作業間連絡調整のデジタル化などに引き続き取り組み、さらにサービスを拡張する方針。「建設業務プロセス全域での生産性向上・働き方改革に寄与するサービスを提供し、建設業界DX(デジタルトランスフォーメーション)を実現する業界標準プラットフォームを目指す」(同社)としている。

同シリーズは、安全書類作成サービス「グリーンサイト」や作業間連絡調整サービス「ワークサイト」などを展開。建設キャリアアップシステム(CCUS)との連携や、検温結果の報告・確認が可能なサービスなど、機能を随時拡張している。大手ゼネコンから地場まで元請建設会社約290社が採用しており、協力会社は約6万8000社が導入。登録作業員数は約160万人に達しているという。